

事務所  
函館市若松町15-7拓銀ビル8階  
ロータリー合同事務所  
☎. (0138) 23-3870



例会場 函館市若松町拓銀ビル7階  
五島軒駅前支店  
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1970. 8. 19

1970~1971 第 8 号

第312回例会

シントン、シカゴ、フェニックス、グランドキャニオン、ラスベガス、ホノルルとかけ足で廻つて参りました。行きました目的は、ロスアンジェルスで行われた、全日本中小企業見本市に参加する為で、此処には1週間滞在しました。此の見本市は日本より21都道府県が参加して開かれたもので、勿論北海道も参加致しました。函館からも10点の品物をもつて参加しました。函館からの出品で比較的人気のあつたものは「板はがき」と「修道女のチェス」でした。板はがきはアメリカでも作られ売られて居りますが、これらはすべて印刷物で日本からの様に絵筆で彩色した様なものではありません。

価格と美しさの点がかわれ、現在迄数千枚が出荷されて居ります。珍味製品なども現実にアメリカで売られて居りまして、当地の須田食品、ときわ食品のものが販売されて居りましたが50円袋が50セント(180円)で売られて居りました。旭川より「ボンゴ豆」というのが出品されて居り仲々好評で1,000カルトン程の引き合いがあつた様です。しかし取り引きとなりますと余程の注意が必要で、現地の日本人商社にまかした方が安全と云われて居ります。

(その後各地を廻られ、経済人の目で見たアメリカの世相経済問題等々にわたつてユーモラスに展開されましたが紙面の都合上割愛致します。)

◆1970年<sup>350</sup>/<sub>351</sub>地区年次大会出席者(45.8.5.現在)

会員 10名 家族 2名

年次大会には出来るだけ出席しましょう。現在迄申し込みがなくとも、参加可能な方は幹事迄申し込み下さい。会員皆様の御出席を期待して居ります。

部門別協議会出席者(9月19日12:00-14:30)

|       |  |   |
|-------|--|---|
| クラブ奉仕 | 会長、幹事<br>出席、親睦、プログラム委員会<br>会員選考、会員推薦、職業分類、<br>情報委員会<br>雑誌、広報、会報委員会 | 木屋会長、平野幹事<br>塚田副会長、下郡山親睦委員長<br>遠藤情報委員長<br>高杉会報委員長 |
| 社会奉仕  |  | 市川インターアクト委員長                                      |
| 職業奉仕  |  | 角谷職業奉仕委員長   |
| 国際奉仕  |  | 外山国際奉仕委員長   |

★ロータリー情報

1905年のシカゴロータリークラブの会員は、飽くまで友好を尊重した故をもつて、彼等の間には宗教上及び政治上の議論は、友好を妨害するおそれありとしてこれを禁じていたことが後になつて非常に有意義であつたことを証明した。ために爆発性の素因を含む種々なる問題が起るべくして起らなかつたのである。その教程は極めて簡単であつた。曰く、「共通の仕事に協力せよ。意見同じからざる問題はこれをさけて、敢て論議するなかれ。然らばわれらは友愛をもて報いらるるであろう」これは集団の一層大なるを致すほど益々採用されねばならぬ教程であつた。(ロータリーの理想と友愛)より

隔りを取り除こう

BRIDGE THE GAPS

1. 人と人との間の……
2. 諸国間の……
3. 人とその生活環境の……

(WILLIAM. E. WALKJR) R.I.会長

次回例会日 8月19日です。



角谷隆一 会員

本日のプログラム

「新入会員として」

小笠原 孝 会員

◎出席報告

45.8.12 会員数 46名 出席 35名 欠席 11名  
45.8.5 会員数 46名 出席 34名 欠席 12名 メイクアップ 9名 93.48%  
他クラブ状況 函館R.C. 94.96% (7/30) 函館東R.C. 96.12% (8/4)  
函館五R.C. 100.00% (7/28)

第311回例会記録

◎司 会 木屋守迪会長 ◎斉 唱 我々の生業  
◎ゲ ス ト 函館市企画部長 宇佐美 茂彦氏

◎ピジター 水沢東R.C. (岩手県) 高橋吉男君(事務機販売)

函館R.C. 小畑信愛君 他13名

函館東R.C. 本間定次郎君 他6名

函館北R.C. 田川 豊君 他2名

◎会長報告

水谷善一会員には、一身上の都合により、当クラブを退会しました

◎幹事報告

1. ガバナー公式訪問の際のアッセンブリーの時、会場に時計を忘れた方があります。五島軒で保管して居りますので御心当りの方は御申出て下さい。
2. 9月19、20日に行われます年次大会に、当クラブより10名出席致します。本日配布の会報に名簿を掲載してあります。なお侯野会員は分区代理として出席致します。
3. 8月29日に決定しました七飯R.C.のチャーターナイトへの出席は非常に少い様に思います。先日の申し込みでは、13名で淋しいと思います。七飯R.C.の会長、幹事より、多数出席して下さる様にとの要望もありますので、もう一度御検討下さいまして、少なくとも20名位で出席したいと考えます。事務所より再度出席の有無を連絡しますので、必ず御回答願います。  
当日はバスが共愛会館前より出て送迎する事になつて居ります。なお8月28日に行われますR.I.加盟記念ゴルフ大会への出席も非常に少いとこの事で運営に非常に苦心して居るそうですので、ゴルフ大会にも多数の参加を希望致します。
4. 例会日の変更：千才R.C.では第三木曜日の例会はしばらくの間、夜間例会となります。

◎ニコニコボックス

1. 侯野分区代理：ガバナー公式訪問を無事終えられました事を記念して。
2. 外山会員：会長退任の記念品を頂戴しました御礼として。
3. 野村会員：何となく申告したくなりまして。
4. 大井、布目、川節会員：御誕生日おめでとうございます。
5. 駒井、宮崎、山形会員：クラブ入会月を記念して。

◎卓話 「函館圏総合開発計画について」 函館市企画部長 宇佐美茂彦氏

只今御紹介いただきました宇佐美で御座います。

たしかー昨年のお事と思いますが、こちらのクラブで計画を作製中の段階での御話しを申し上げたはずで御座います。

皆様のおかげをもちまして、此の一市四町にわたる函館圏計画も、4月18日各議会の意見も入れまして最終決定を見る事が出来ました。私共は直ちに国或いは道の関係方面に陳情したのであります。道の三期計画が7月10日閣議決定を見た事は皆様御承知の事と思いますが、私共の決定した港湾、空港或いは流通センター等の計画が、ほとんど此の三期計画の中に生かされて居ります。

同時に又此等の計画を国の長期計画の中に反映したいものと、現在運輸省、開発庁等の関係方面に陳情して居りまして、大体我々の考えた初期の目的が達成出来る段階に来て居るものと思われまふ。従いまして、46年度よりいよいよ此の計画が実施に移る時に

来て居り、皆様各方面の御協力をお願い申し上げる次第で御座います。時間もありませんので、計画の中の港湾、空港及び流通センターに就いて申し述べたいと思います。

1. 港湾 函館港の港域は従来函館山大鼻岬と上磯を結ぶ線で区切られて居りましたが、今度の計画ではそれが矢不來とを結ぶ線まで拡大し、新しい臨海工業或いは流通センターをもつた港湾を造る事になりました。

最終案をもつて市長が上京し、運輸大臣等関係者と打ち合わせを行つたのでありますが、大臣は来月来函して、港湾、空港、トンネル等を視察し認識を深めたいという事になりました。運輸省としては臨海工業地帯を50年度迄に一挙に完成してしまいたいという考えで、それによれば工業地帯を港の外側に、フェリー発着所及び公共埠頭を内側にもつて来るという計画であります。これに要する経費は約400億円となつて居ります。

当初計画地の外側に防波堤を建設する予定でしたが、計画変更でフェリー基地の場所に置かれる事になりました。そして外側より火力発電所の用地約10万坪を確保します。電力に関しては従来函館地区は比較的需要が少なかつたのでありますが、近來企業の充実と進出により全道平均10%の伸び率に比べ、函館地区は20%の伸び率を示す様になりました。現在では最大13万KW、間もなく15万、20万KWの需要の時がやつて参ります。此の様な事実を反映して現在19万ボルトの送電線2回線の工事が進められて居ります。

七飯の変電所の問題更に本州への送電連繫が考えられる現段階で、当然当地区に強力なパワーステーションが必要になるという事で、北海道電力では昭和47年に火力発電所の第1号炉を着工したい、それも25万KWを目指して居ります。此の様な背景のもとに、北海道の新しい電力センターとして函館が浮かび上がろうとする状態になつて来たわけでありまして。私共の計画では25万KW2基、35万KW2基、合計120万KWの臨海火力発電所を昭和60年度迄に完成させたいと考えて居ります。

現在北海道の電力事情は大体1年毎に15万、20万或いは30万KWの発電所を建設しなければ需要に追いつけない実情であり、只今苫小牧には25万KW四基の建設が進められて居り、又室蘭地区では電力の需要はあるものの、公害の問題で設置出来ない事情の為伊達紋別に25万KW四基の工事が進められて居り、これが来年竣工、次いで函館が47年に着工して51年に運転開始しなければ、需要に間に合わないというのが、現在北海道に於ける電力状態でありまして。

次に電力基地の隣に石油精製及び石油化学の基地を考えて居ります。現在当地にはアジア石油があり25,000バレルの生産量がありますが、将来の経済単位は20万或いは30万バレルと云われて居ります。アジア石油は四国の坂出に10万バレルの石油精製工場を建設中であり、48年には完成する予定になつて居ります。従つて50年以降は北の方に精油工場を設置するというのが政府の意向であります。北と申しますと、苫小牧、函館及び陸奥湾がその候補地であります。昨年11月三菱化成の社長が当地に参り懇談致しましたが、函館に就いては極めて条件が良い、問題は土地造成がどれ程出来るかという点にしばらくの事でありました。苫小牧については道庁が土地買収を行つて実際の計画を進めて居ります。

函館に就いては道庁の意向として援助の余力なく、従つて地元と民間ディベロッパーとの協力で話を進めてほしいというものであります。此の様な状況のもとで、三菱グループは此の5月に三菱開発という会社をつくり民間ディベロッパーとして開発に貢献しようという状態が出て参り、現在此の会社と接触を保つて居るわけでありまして。近い将来計画通りになると思いますが、現在段階で支障になる様な条件はないという事で、順調に推移して居るものと確信して居ります。

更に内側にセメントに関する敷地を設置してあります。日本セメントは今年設備の増強をはかり、生産も23万トンに増し、ベルトコンベアによる運搬が可能になりました。



将来がろうとの間をベルトコンベアで直結する計画で用地問題も完了し、48年頃迄に終る予定になつて居ります。

そうすると此の工場は30万トンの設備に増強されるのでありますが、将来は月産55万トンの工場にする計画があります。従つて残りの25万トン分は此の臨海工業地帯に設置される事になります。現在でも上位にランクされて居る会社であります。将来は文字どおり日本一のセメント工場に躍進することが約束されて居る様な次第であります。石油配分基地に就いても、これらを集約して、此処に造りたい予定であります。

更に今後フェリーの基地、コンテナ貨物の基地も大いに発展するものと考えられます。かかる基地の整備こそ重大な仕事と考えられます。

以上の様な膨大な基地を造成するにあたり、我々は40%の起債を認めてもらい、残りの60%を民間資金を活用して行きたい、それには三菱グループとの提携を考えて居る次第であります。

**2. 空港** 運輸省は函館空港については、地方空港のモデルとして整備したいという考えで、今年も約10億近い整備費を投入して居ります。来年秋にはジェット機が飛べる2,000米滑走路が完成しますが、引き続いて2,5000米に拡張する計画になつて居ります。その時はジャンボの様な巨人機の発着も可能になり、千才空港の代替空港ともなり、或いは又近距離国際空港としての性格もおびて参ります。

国内の地方空港としては整備その他最先端を行つて居る様な現状であります。もつと力を入れて、新しい函館を造る為の玄関口をより完全なものにしたいと考えて居ります。ターミナルビルは新会社が誕生し、来年秋には立派なビルが完成します。又周辺には航空公園の様なものを造る計画もたれて居ります。

**3. 流通センター** 本日の新聞に記事の出で居りました流通センターに就いて申し上げます長年懸案でもありました中央卸売市場或いは卸売団地というものが必要になつて来たのですが、現在函館市内には充当する土地がありません。従つて亀田町或いは上磯町と協力して、土地の選定を急いで居る現状で、現在行われている大野灌排の内に設置するという事がほぼ決定して居ります。しかし農地転用の問題があり道庁と折衝中という段階であります。それについて46年迄に土地の確保、造成が出来るならば許可しようというのが道の意向であります。我々としても是非47年には建物の建造に着手したいと考えて居る次第であります。中央卸売市場これは市が開設するものであり、従来野菜、果実を対象に考えて居つたのですが将来は魚類をあつかう市場にしなければならない状勢であります。その他に屠殺場誘致の問題等も登場して参りますが、とに角新生函館を目標として努力して参るつもりで居ります。皆様におかれましても御協力の程心から御願い申し上げます。

(紙面の都合で講演の内容、一部省略致しました事を、演者並びに会員の方々におわび致します。)

★訂正 前号でゲストが函館市企画部長になつて居りましたが、函館市商工部長 片桐 博氏の誤りですので訂正致します。

隔りを取り除こう

**BRIDGE THE GAPS**

1. 人と人との間の……
2. 諸国間の……
3. 人とその生活環境の……

(WILLIAM E. WALKJR) R.I.会長

次回例会日 8月26日です。



第313回例会



角谷隆一 会員

本日のプログラム

「 映 画 」

◎出席報告

|           |                        |                          |                         |            |         |
|-----------|------------------------|--------------------------|-------------------------|------------|---------|
| 45. 8. 19 | 会員数 45名                | 出席 34名                   | 欠席 11名                  |            |         |
| 45. 8. 12 | 会員数 46名                | 出席 35名                   | 欠席 11名                  | メイクアップ 11名 | 100.00% |
| 在函クラブ     | 函館R.C. (8/6)<br>95.00% | 函館東R.C. (8/11)<br>97.40% | 函館五R.C. (8/7)<br>97.50% |            |         |